

授業科目名	消化器内視鏡学	大学名	獨協医科大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	前期・後期
学部・学科等	医学部・医学科	曜日	教務課までお問い合わせください。
必修・選択区分	選択	時限（時間）	教務課までお問い合わせください。
標準対象年次	4、5、6 学年	授業形態	講義・実習
単位数	0.5 単位	授業会場	教務課までお問い合わせください。
担当教員名	入澤 篤志		
電話番号 (代表者名)	0282-87-2419 (教務課)	e-mail アドレス	kyoumu@dokkyomed.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;  現在の消化器病診療（消化管診療，胆道・膵臓診療）において，消化器内視鏡は欠かせない診療機器です。本講座では，現在行われている消化器内視鏡を用いた診断と治療について，その基本から応用まで解説するとともに，次世代に向けた新たな開発・取り組みについても講義を行います。本講座は，医学部・看護学部・理学療法などのリハビリテーション系学部学生など，医療に関わる学生にとっての消化器病学の補講的な役割を担いますが，それ以外の理工農学系学部等に席を置く学生にとっても，消化器内視鏡医療の現状と今後の新たな可能性を学ぶことで，工学やバイオ技術を用いた新しい診断法や治療法の開発，ひいては新たな内視鏡機器開発に繋がる知識を得られると考えています。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;  特に求めませんが，可能であれば「消化器：食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓」についての解剖やその働きについての基礎知識があれば，本講座の理解の助けになると思います（予習用として，成美堂出版「全部見える 消化器疾患（スーパービジュアルシリーズ）」は良い本です）。</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;  はじめに，現在用いられている消化器内視鏡に実際に触れていただき，消化器病診療における役割の概念を掴んでもらいます。その後は，各臓器診療における消化器内視鏡診断と治療について講義を行います。最後には，今後の新たな展開についての講義を行います。これらの講義は，実際の内視鏡機器ならびに内視鏡診療に使用するデバイス（処置具）に触れながらインタラクティブに行うことを基本とします。また，動画を多用して講義を進めますので，リアルに消化器内視鏡診療の実際を学ぶことができると考えます。</p> <p>&lt;授業計画&gt;  第1回目：消化器内視鏡機器の理解（内視鏡や処置具の構造と役割）  第2回目：上部消化管（食道・胃・十二指腸）に対する消化器内視鏡診療（1）  第3回目：上部消化管（食道・胃・十二指腸）に対する消化器内視鏡診療（2）  第4回目：下部消化管（小腸・大腸）に対する消化器内視鏡診療（1）  第5回目：下部消化管（小腸・大腸）に対する消化器内視鏡診療（2）  第6回目：胆道・膵臓に対する消化器内視鏡診療（1）  第7回目：胆道・膵臓に対する消化器内視鏡診療（2）  *該当する医学教育コアカリキュラム  C-2-2, C-3-1, C-4-5, C-4-6, D-7-1, D-7-2, D-7-3, D-7-4, E-2, E-3, E-4, F-1-1, F-1-2, F-1-3, F-1-4, F-1-5, F-1-20, F-1-21, F-1-22, F-1-23, F-1-24, F-1-25, F-1-26, F-2-1, F-2-2, F-2-3, F-2-4, F-2-5, F-2-5, F-2-7, F-2-12,</p> <p>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;  教科書等は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。</p> <p>&lt;成績評価法&gt;  口頭試問等により評価します。全7回中，5回以上出席しないと評価の対象とはしません(単位を取得できないこととなります)。</p> <p>&lt;教員からのメッセージ&gt;  消化器内視鏡診療は，医師や看護師のみならず，機器や技術を開発するさまざまな理工農系の技術者の力が結集して成り立っています。少しでも興味があるようでしたら是非受講してください。本講座が次世代の消化器内視鏡診療に繋がれば嬉しい限りです。</p>		